

ユリノキ
の町から

風の便り 69

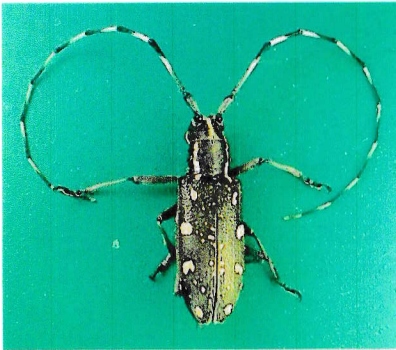
2024 (令和6) / 7 / 1
八千代・ゆりのき台 辻 秀幸

カミキリムシ (昆虫綱 コウチュウ目 カブトムシ亜目 ハムシ上科 カミキリムシ科)

コウチュウの人気者、カブトムシやクワガタムシにはお目にかかっていない。カミキリムシには何回か遭遇した。こちらの人気はいまひとつのようだ。それどころかマツやサクラを枯らすからと、目の仇にされている。

カミキリムシの幼虫は木に穴を開け、成虫になると葉や幹、皮、果実を食べるので、農林業の害虫。その反面、枯れ木を処理するなど森の掃除屋としての働きをする。

キボシカミキリ



← 2019/7/17.
船橋・浜町
「浜町公園」

⇒ 2019/5/31.
船橋・浜町
「浜町公園」
↓



← 2019/7/17.
船橋・浜町
「浜町公園」

リンゴカミキリ



キボシカミキリはイチジクやクワなどクワ科を食す。リンゴカミキリはリンゴなどバラ科が好み。

カミキリムシという名前は、「髪をもよく切る」とい

うことからとされ、髪の毛を実際に切らせてみたという記事を見たことがある。髪の毛なんぞは屁の河童。調査によると体重 45g のカミキリムシの噛む力は 959g あったという。人間に換算すると 1 トンほどということになる。クワガタムシだって 645g というからたいしたものだ。この強力な噛む力が損なわれた時は命の終わり。人間の噛む力はおよそ体重ほどだそう。私の歯はガタガタになったが、その筋の専門家のおかげさまで食べる楽しさは維持されている。人間でよかったことの一つだ。

キボシカミキリ



← 2019/7/17.
船橋・浜町
「浜町公園」

⇒ 2018/6/17.
船橋・浜町
「浜町公園」

リンゴカミキリ



写真のような口で木を食い荒らす。マツノマダラカミキリは松を枯らすマツノザイセンチュウを運ぶ。そういうわけで農林業の大敵として駆除対象となっている。その一方で、木に噛みつくことで樹液が出るので虫たちが集まり、虫好きの人たちにとってはありがたい存在。

幼虫は、最近話題になる昆虫食としてファールも絶賛したというほど美味だとか。鉄砲虫と呼ばれ、千葉県で焼いて食べてみたという人の体験記によると、シロスジカミキリの幼虫が大きくてお勧めだそう。弱って伐採したクリの木が有りましたら見つけてご賞味ください。大きな穴の奥に潜んでいます。私は今のところ試食予定なし。

成虫はきれいな衣装をまとうものが多いので、蒐集する愛好家がいる。

モドキのカミキリ

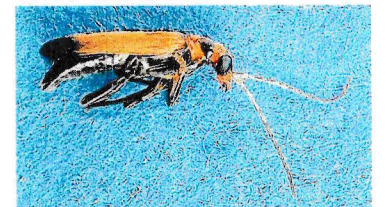
ツマグロカミキリモドキ (コウチュウ目 ゴミムシダマシ上科 カミキリモドキ科)

カミキリモドキという名前から、カミキリムシの隣りぐらいに近い仲間かと思った。長い触角が似ているからというだけのことらしい。コウチュウ目となっているが羽も体も柔らかい。幼虫は朽木を食べる。成虫は花に寄ってくる。

「もどき」という語には「にせもの、まがいもの」という意味合いがあるが、だからといってぞんざいにあつかってはならない。イタイめに会う。

血液にカンタリジンという毒を含むので、体液に触れると火傷のような症状を起こす。

大阪では兵隊虫と呼んで、肘に挟み、水ぶくれが出来たら負け、できなければ翻勝という兵隊虫勝負という子供の遊びがあったという。大阪を含めて関西の言葉は魅力的なので真似することがあるが、この遊びの真似はお勧めできない。



2017/5/26. 船橋・高瀬町
「フジフーズ第一工場」入口